令和7年度

まちづくり推進部の方針書

部　名	まちづくり推進部
部長名	森田　博範

1. 部の使命（ありたい姿）

協働・文化・安全安心・健康をキーワードに「人と地域が燦くまち」を支えます。

担当政策	政策6：やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
担当施策	3-1：安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 6-1：市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 6-2：男女が尊重しあう社会づくり 6-4：市内外との交流連携の推進

2. 部の抱える課題（現状）

○地域課題の解決に向け取り組む地域運営組織の全市展開を目指しています。
○地域の魅力や資源、伝統文化を活かし、協働と連携による魅力あるまちづくりを目指しています。
○地域ニーズを把握するとともに、市民との協働による安全安心な生活環境の整備を目指しています。
○公共施設の適切な維持管理とFM計画に即した適正な再配置を目指しています。

3. 今年度の『スローガン』

◇主役は市民！地域の元気創出に向けた
縁の下の力持ちであり続けよう

4. 今年度の方針

◇市民が主役の地域活動と、応援人口との関係深化につながる取り組みにより、人口減少に適応した地域づくりの推進
◇地域の個性（魅力や地域資源、伝統文化等）を活かし、市民が誇りをもって笑顔で暮らせるまちづくりの推進
◇公共施設の適切な維持管理と、公共サービスの持続的な提供

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市民が主役の地域活動と、応援人口との関係深化につながる取り組みにより、人口減少に適応した地域づくりが推進されている
	取組内容	・地域活動を支える諸制度の周知と活用支援により、地域住民の更なる自治意識向上と活力ある地域づくりを推進する。 ・組織化未済地区における地域運営組織の設立支援と、既存地域運営組織の運営の強化・深化を支援する。 ・応援人口の創出と関係深化、ふるさと納税の推進、地域おこし協力隊の活動推進に向けた展開を加速し、新たな視点での地域活力の創造を探る。
(2)	実現したい成果	地域の個性（魅力や地域資源、伝統文化等）を活かし、市民が誇りをもって笑顔で暮らせるまちづくりが推進されている
	取組内容	・市制施行20周年も契機としながら、地域の個性（魅力や地域資源、伝統文化等）を活かし、元気と賑わいを創出する事業を推進する。 ・開館30周年を迎える横手市増田マンガ美術館や増田の町並みを中核とした事業の推進により全市的な賑わい創出を図るとともに、各地域の個性を活かした魅力あるまちづくりを推進する。 ・公民連携による新たな視点でのまちづくりの仕組みづくりを加速化させる。
(3)	実現したい成果	公共施設の適切な維持管理と、公共サービスの持続的な提供がなされている
	取組内容	・公共施設の適切な管理・運営を図るとともに、市民との対話を重ねながらFM計画等に基づく再配置を着実に推進する。 ・市民に寄り添い信頼される窓口サービスの提供と接客対応に努め続ける。 ・災害対応、子育て、保健、福祉等を通じ、安全・安心な市民生活の確保に努める。 ・地域局の在り方の検討に着手する。

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組状況

（1）市民が主役の地域活動と、応援人口との関係深化につながる取り組みにより、人口減少に適応した地域づくりが推進されている
・4月に補助金制度のガイドブックを大幅に改定にするなど、その周知に努めてきたことから申請件数は増加傾向にあり、集会施設整備補助金は5月に受付を終了。
・朝倉地区はR8年3月の地域運営組織設立に向け準備委員会を立ち上げ検討を進めている。旭地区は地区会議へのヒアリングを実施し、R10年度の組織形成に向けて準備を進めている。伴走支援による運営協議会の組織体制と事業の見直しに取り組んでいる里見地区は各部会のWSで協議を進めており、吉田地区は組織体制見直しに向けた準備を進めている。その他、地区交流センター連絡やセンター事務補助員、東部地域各センター職員と運営協議会員委員など各種情報交換会を実施。
・ふるさと納税返礼品の拡充や返礼品登録事業者の掘り起こしや、中間事業者からの提案を活用し、ポータルサイトの魅力向上とPRの強化に取り組んでいる。また、市の知名度向上やふるさと納税寄付促進を図るため、ふるさと納税イベントに参加（8/23～24　イオンモール新利府南館）。
・地域おこし協力隊サポート事業（隊員への個別ヒアリング、受け入れ担当課職員向け研修）を実施中。
・今年度より移住コーディネーター（地域おこし協力隊OB・OG）を設置し、移住検討者・希望者をターゲットとしたSNS発信、相談案内、移住定住コミュニティ形成イベント等を実施。

（2）地域の個性（魅力や地域資源、伝統文化等）を活かし、市民が誇りをもって笑顔で暮らせるまちづくりが推進されている
・市制施行20周年を冠に、内容の充実を図りながら地域の元気創出を目的とした各種イベント（増田の花火（増田）、あやめまつり（平鹿）、は・は・はまつり（雄物川）、芝桜フェスタ（大森）、猩々まつり（十文字）、いものこまつり（山内）、サマーフェスティバル（大雄）etc）を実施。
・市制施行20周年記念式典と同時に10月開催を予定している増田まんが美術館会館30周年記念式典の開催に向け、関係各課・団体と調整を図りながら準備を進めている。
・市内外の事業者や庁内関係部局と連携した「未来共創プロジェクト」を3件実施しているほか、東北大学公共政策大学院とのパートナーシップ協定に基づく連携事業の実施に向け調整中。

（3）公共施設の適切な維持管理と、公共サービスの持続的な提供がなされている
・FM計画等の着実な推進に向け、地域や団体との対話を実施している。
・公共施設・インフラに関しては、定期的なパトロールや道路の舗装修繕、公園の除草など、適切な維持管理に努めている。
・信頼される市役所となるための基礎となる職員の資質向上や接遇等に関しては、適宜、研修・注意喚起・指導等を実施中。
・地域局のあり方に課する部内アンケート調査を実施。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

（1）市民が主役の地域活動と、応援人口との関係深化につながる取り組みにより、人口減少に適応した地域づくりが推進されている
・各種補助金の申請件数の増加とともに申請団体や事業内容が多様化しているため、制度趣旨の再確認とその周知に引き続き努める。
・地域運営組織の設置に関しては、朝倉地区はR8年4月からの事業開始に向け、引き続き運営体制・方法を協議、旭地区は住民説明会を開催し地区住民への意識醸成を図る。センター活動の深化等に向けては、里見地区（伴走支援）はセンター事業と運営方法の見直しを具体化し、吉田地区（伴走支援）は組織運営のあり方について運営協議会委員でのWSを実施する。その他、各種研修の実施のほか、R8年2月には「地区交流センター大交流会」を実施予定。
・ふるさと納税については返礼品の拡充や登録事業者の掘り起こし、返礼品の磨き上げ、ポータルサイトの魅力向上・PRの強化等に引き続き関係部局と連携しながら取り組み、寄付金額の増額に努める。
・地域おこし協力隊については、隊員が生き生きと活動に取り組めるよう、引き続き協力隊サポート事業を実施する。
・移住検討者・希望者をターゲットとしたSNS発信相談案内業務等を継続実施するとともに、首都圏等における移住定住イベントを実施する。

（2）地域の個性（魅力や地域資源、伝統文化等）を活かし、市民が誇りをもって笑顔で暮らせるまちづくりが推進されている
・公民連携による「未来共創プロジェクト」を継続実施するとともに、「つなぐ」機能を強化し、民間事業者等との共創を促進するため、「横手市民間提案窓口（仮称）設置に向け、調整等を進める。
・市民が誇りに思えるまちづくりのため引き続き、重伝建の町並みや歴史・文化・マンガなどの有効利用を図る。

（3）公共施設の適切な維持管理と、公共サービスの持続的な提供がなされている
・FM計画の着実な推進等に向けて、庁内協議はもとより市民との対話を継続して実施する。
・関係機関とも連携のうえ、冬季の安全安心な作業と適正な維持管理に努める。
・一人の職員の言行が組織に与える影響を常に意識しながら、信頼される市役所の構築に向け、職員一人ひとりが全ての事象を自分ごとと捉えつつ、高い倫理観のもと事務を執るよう、引き続き、自己研鑽や研修、指導等に取り組む。
・引き続き地域局のあり方に関する検討を進める。

8. 総括（取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】）